小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	特定非営利活動法人 オーバル	代表者	室井啓子
事業所名	おーばる・ほーむ	管理者	室井啓子

法人・事業所の特徴	2020年は、コロナ禍による緊張で疲弊した一年でした。日頃感染予防の配慮はしていましたが、見えない恐怖に、予定していた計画も中止や活動を停止し、6年間試行した「通い」の内容も変更しました。しかしコロナ禍の中でも運営を継続できたことは事業所評価と考えていますが、不安な状況に変わらず危機感を持って予防を図ります

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	2	3	0	1	1	2	2		12

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	**記録の改善は継続し、実際に行いながら、スタッフの負担も考慮し、その度改善を図る**	試行して行っている	パソコンの操作は出来なくとも録音することで記録ができる方法もある	**記録を簡素化と共有を図る。 当分現在の記録で改善を図る**
B．事業所のしつらえ・環境	**建物に目印となる工夫を考える**	環境整備をしている	小規模の看板が出来たこと。年度当初に予定した改築が、コロナ対策にもなり空間が広くなった	**予算の計画が必要なことか、直にできる整備かを見極めながら環境整備を行っていく**
C．事業所と地域のかかわり	**事業内容を知って頂くためにも、地域に出向くことを積極的にしていく**	自治会、イベント等あれば参加している	ＰＲに外出用のジャンパーを作る。利用者側から読み取れるパンフレットを工夫して欲しい	**自治会との関係性を深め、施設があることで安心できる地域環境を目指す**
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	**事業所が出来る事でイベントへの参加・協力を積極的に工夫する**	評価できる	ＡＤＬを考えて取り組んでいる	**ご利用者が安心して生活が続けられるように、関係者と連携を図る**
E．運営推進会議を活かした取組み	**事業所に留まらず、視点を地域に向け、一緒に取り組む**	運営推進会議を上手に活用している	意見を受けながら実施している	**委員のご意見を住民の意見と聞き、丁寧な対応を心掛けて課題を減らす**
F．事業所の防災・災害対策	**避難経路や支援体制を具体的に進めるため、委員の参加機会と避難先との打ち合わせを行う**	勉強にも参加し専門的に学び避難先を決定した。実行に移す段階にきている	日常にどう取り組むか。パニックを起こさないように日頃からトレーニングするように	**ホーム内では毎月16日を訓練の日として緊急事態に備える**